

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	投資効率の悪いことは、明白であり、事業者が100%負担するのは無理がある。従って、公的なコスト負担は必要。
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	利用率が低い要因としては、料金の問題も考えられるが、現時点では、超高速ブロードバンドを利用するサービスメニューのユーザーへの訴求力が弱いということではないか。事業者間の公正な競争が、より料金の低廉化に寄与することは解るが、一部で議論されている「NTTのアクセス部門を分離する…」ことが、グローバル競争の観点から問題がないが疑問である。今後の熾烈なグローバル競争を考えると、NTTグループは、従来以上にR. & D. に注力して、この領域での国内関連業界をリードすべきではないか。